

子どもが生まれる時、その子は、自分がどんな目的を持って転生してきたかを、心の奥ではつきりと知っています。つまり、自分らしく生きて、さまざまな経験を楽しもうとしているのです。そして、明確な目的意識のもとに、家族と環境を選んでいきます。私たちは、全員が、同じ使命を帯びて、この地上に生まれてくるのです。つまり、さまざまな経験をありのままに受け入れ、そしてそれらの経験を通じて自分をありのままに受け入れて愛するために、この地球に生まれてくるのです。

私たちが、それらの経験を裁き、罪悪感や恐れ、後悔などの感情とともに生きる時、つまり、それらの経験をありのままに受け入れない時、私たちは、必ず同じ状況、同じ人々をふたたび引きつけて、似たような経験を繰り返すこととなります。ある人たちは、同じ経験を今回の人生で何度も繰り返すだけでなく、今後何度にもわたって転生して同じ経験を繰り返し、その結果、ようやくその経験を完全に受け入れることができるようになるのです。

経験を受け入れるということは、その経験を好きになることでもなく、またその経験に同意するということでもありません。そうではなくて、むしろ、その経験を通して自分にとって必要なことを学ぶ、ということなのです。そのためには、特に、自分にとって役に立つことと役に立たないことをはっきり見抜く必要がある

ります。そして、そのためには、《原因と結果の法則》に意識的にならなければなりません。つまり、私たちが感じたこと、思ったこと、決めたこと、言ったこと、行なったことが、一定の結果を引き起こすということを知らなければならないのです。

現在、人類は、ますます智慧に満たされた生き方をしようとしています。そのためには、自分にとって都合の悪いことが起こった時、それをまわりの人や環境のせいにするのではなくて、自身がその原因を作ったのだということを（それは無意識的であったかもしれませんが）見抜かなくてはならないのです。それが、経験を受け入れるということなのです。自分がその原因を作ったということを見抜かない限り、「もうそんな経験はしたくない」といくら言ったところで無駄です。あなたは必ず似たような経験を繰り返すでしょう。もしかすると、あなたは、何度も同じ過ちを繰り返し、いやな思いをしなければ、自分を変えることができないかもしれません。でも、一回目で気づいた方が、はるかに楽なのではないでしょうか？ そのためには、エゴに基づいた考え方をやめればよいのです。

エゴというのは、種々の「思い込み」によって支えられています。そうした数多くの思い込みを持っているために、私たちは、自分になりたいと思っている自分になかなかできません。そして、そうした思い込みのせいで、つらい思いをすればするほど、その思い込みを見ないようにしてしまうのです。あげくの果てに、そうした「思い込み」が自分にあることを、まったく自覚できな

